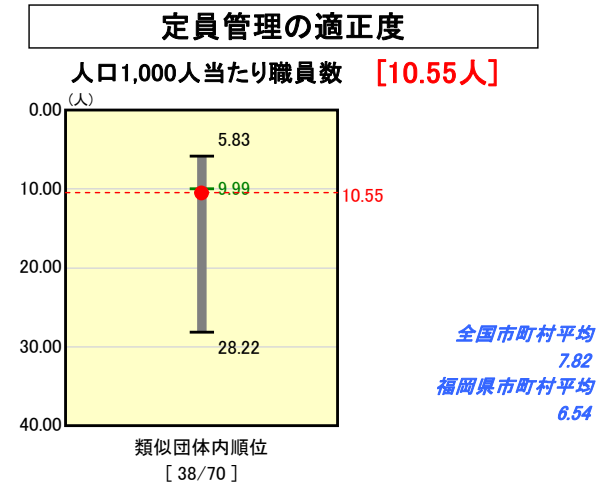
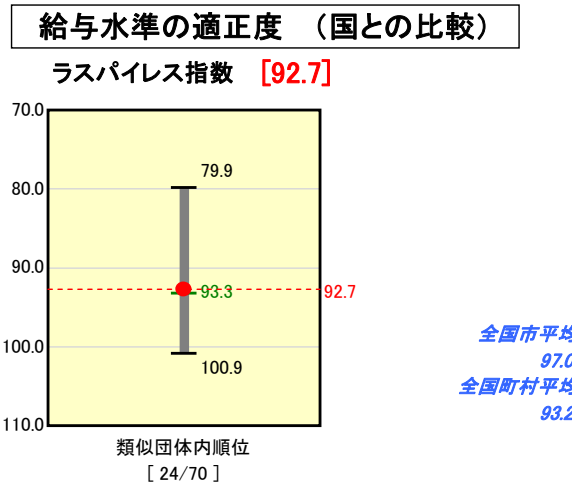
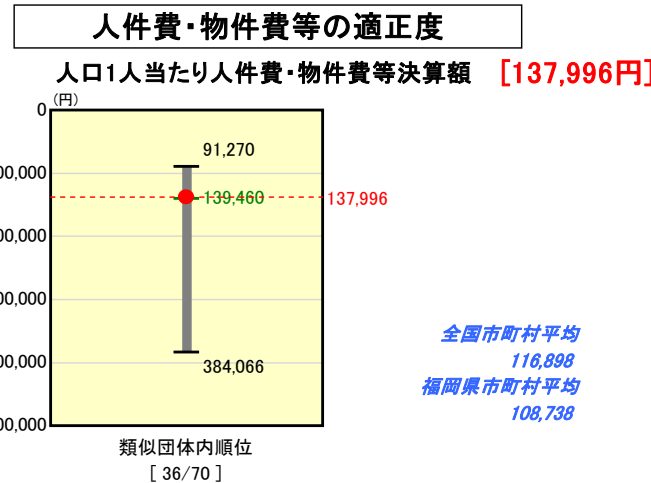
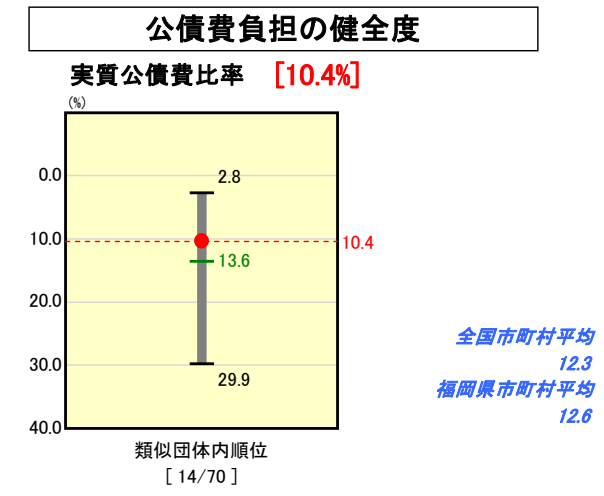
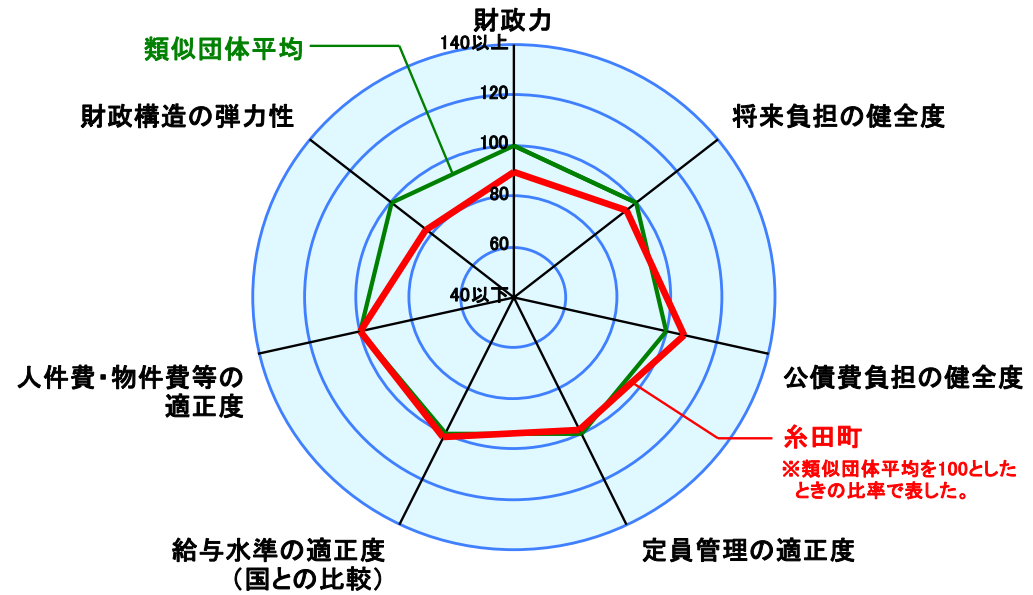
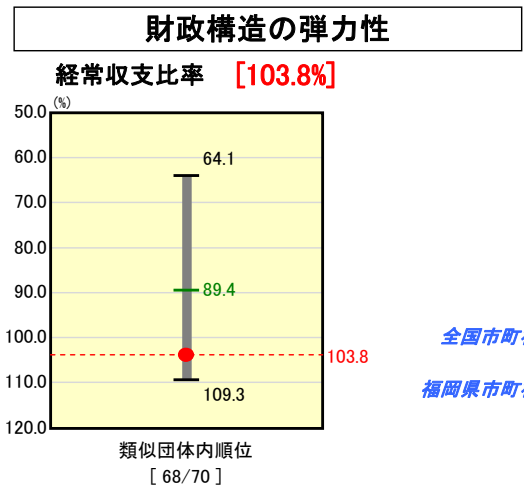
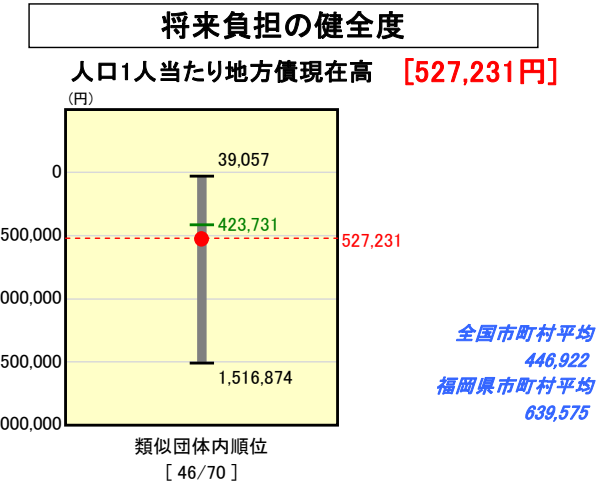
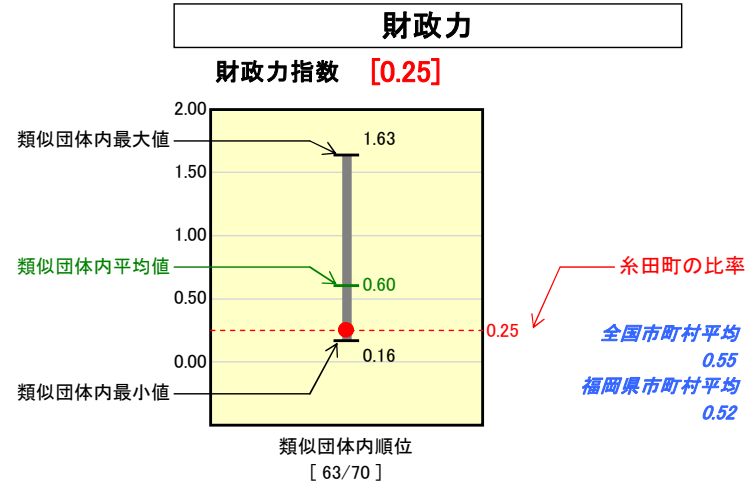


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 福岡県 糸田町

人口	10,234 人(H20.3.31現在)
面積	8.04 km <sup>2</sup>
歳入総額	4,021,052 千円
歳出総額	3,837,124 千円
実質収支	183,928 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

○財政力指数  
ここ数年わずかながら伸び続けているが、主たる産業もなく大規模な企業もないため財政基盤が弱く、類似団体平均より0.35低くなっている。今後も集中改革プランに基づき、企業誘致のための工場用地の早期売却や収収等の徴収強化に努める。

○経常収支比率  
人件費及び公債費で55.0%と高く、さらに制度見直しによる更生医療費の伸びにより、類似団体平均より14.4ポイント高くなっている。集中改革プランに基づき、平成17年4月現在183名の職員を平成22年4月現在164名に削減するとともに、地方債の新規発行を必要最小限に抑えていく。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額  
類似団体平均より1,464円低くなっている。しかしながら、ゴミ処理業務等を一部事務組合で行っており、これらの人件費、物件費等を含めると人口1人当たりの金額は大幅に増える。今後も、類似団体平均を上回らないように努める。

○ラスパイレス指数  
給与体系に関しては、国に準拠しており類似団体平均より0.6ポイント低くなっている。今後も給与の適正化に努める。

○人口1人当たり地方債現在高  
近年、投資的経費を抑制してきたことにより地方債現在高は減少しているが、類似団体平均より103,500円高くなっている。今後もダム建設等の大規模な事業に対する地方債が増加する見込で、その他の事業を抑制していく。

○実質公債費比率  
平成2年度から平成14年度の公債費負担適正化計画、その後の計画の主旨を踏まえた事業の抑制により、類似団体平均より3.2ポイント低くなっている。今後も事業の緊急性、必要性等を考慮し計画的に事業を実施し、公債費の平準化に努める。

○人口1,000人当たり職員数  
平成18年4月1日から平成19年4月1日に3名の職員削減となったが、類似団体平均より0.56人上回っている。今後も集中改革プランに基づき、平成17年4月現在183名の職員を平成22年4月現在164名に削減する。